



## 小笠原で暮らすイルカたち

### 「生活圏」

4月に父島で確認された個体識別番号#28のミナミハンドウイルカは、母島列島や聳島列島との間を行き来していることが知られています。小笠原のミナミハンドウイルカはこれまでの調査から、聳島列島から母島列島にかけての海域内に定住していると考えられています。

伊豆諸島の御蔵島にもミナミハンドウイルカが生息しており、基本的には御蔵島の周辺に定住しているとされていますが、少数ながら他の伊豆諸島や関東地方の沿岸に移動が確認された個体もいます。2007年7月に千葉県鴨川で保護されたミナミハンドウイルカは、御蔵島で個体識別されていた個体だったそうです。

ミナミハンドウイルカの分布は外洋域が障壁となって、それぞれの沿岸域内に限られると考えられています。なかには新たな生息地へ移動する個体もいるようです。小笠原ではまだ確認されていませんが、大海原に繰り出す冒険者がいるのでしょうか。



### 「群サイズ」

小笠原のミナミハンドウイルカは、基本的にはあまり大きな群を作らず、たいがいは10頭以下です(平均8頭)。単独や数頭でいることもあります。御蔵島やオーストラリアのミナミハンドウイルカも同程度の群サイズなのですが、九州の天草や南アフリカでは百頭以上の群を作ります。地域によって同じミナミハンドウイルカでも群サイズが違うのです。

しかし、小笠原でも時には普段の倍以上にあたる20頭を超える群を作ることがあります。5月10日の調査では20頭ほどの群に遭遇しました。チューヤン(#27)やコブちゃん(#4)といったなじみのイルカから、ここ1~2年の間に登録された新顔もいました。小笠原のミナミハンドウイルカの群は固定的ではなく、離合集散を繰り返す中で一時的に大きな群を作ることもあるのです。



20頭の群の中にいたコブちゃん(#4)

## イルカのこともっと知りたい! その3



### 君たちははいくつなの?

イルカの年齢ってどこで判断するのかな?  
Q・①体のしわの数 ②体のまだら模様 ③歯



A・③歯  
歯を切断し、その断面の明暗の筋の数で年齢を判断します。生きている時は調べる事ができませんね。②はまだら模様がでてくるミナミハンドウイルカには子供か大人かの手がかりになっています。

